

平成28年度 障がい支援ひかりの丘 事業報告

1. 概況報告

平成28年度は、民営化となり信愛会「障がい支援ひかりの丘」のスタートとなった。法人理念の下、サービスの質を落とすことなく、利用者本位の事業運営を行っていくことを目標とした。本人の意向や家族の要望による支援目標やサービスの提供を行い、利用者の生活の質を高める為、年2回の保護者面談を実施した。個別支援計画は、見直しを行い日々の支援に反映させた。

平成28年4月施行の「障害者差別解消法」を受け、利用者の権利擁護や虐待について、権利擁護委員会活動により、職員の意識向上を図った。

防災に関しては、総合防災訓練時建物倒壊を予想し、テント設営等を行った。合わせて防犯にも目を向け、セコムとの契約内容を見直した。又、地域での防災訓練への参加も行った。

相談支援ひかりの丘は、利用者の将来を見据え、サービス等利用計画の充実を図り、利用者の生活の幅が広がるよう、短期入所利用や居宅介護利用を勧めた。各事業所とはケア会議を行い連携を図り、情報の共有に努めた。自閉傾向のある利用者支援については、静岡県発達障害者支援センターへ相談し、家庭での生活の仕方の指導を受け支援に活かしている。

2. 各事業

(1) 生活介護

- ・日常生活支援を中心に作業、運動、療育、音楽等活動内容の充実を図った。作業では個人の作品作りを行ったが時間が思うように取れず十分に取組みなかった。社会参加としては遠出の外出を企画し、今年度は山中湖まで出向き、水陸両用バス乗車を体験した。季節の行事を楽しむ企画も多く取り入れ自然に触れる機会も多くした。入浴を週4回1日4～5人行い、家族の介護軽減を図っている。その他の事業としては、土曜日や、平日の早朝、午後10時までの特別支援を行い緊急時への対応も行っている。

(2) 指定特定相談支援事業

- ・サービス等利用計画、半年毎のモニタリングとも利用者、保護者との意思を確認し実施した。

(3) 事務管理

- ・勤怠システムに慣れるよう、周知徹底に努めた。

(4) 研修委員会

- ・法人内人材育成や、県主催他様々な研修へ、業務内容にあった研修ができるよう努めた。職員全体研修ではアンガーマネジメントを学び、支援に活かすことができた。

(5) 看護・衛生管理

- ・感染症防止の為、利用者体調管理について保護者への協力を呼びかけ、定期的に吐瀉物処理方法の確認も行った。

(6) 防災委員会

- ・防災マニュアルの見直しを行い、毎月の訓練が、保護者へも周知されるよう、メール訓練や171伝言ダイヤルの方法を再確認した。

(7) 安全運転委員会

- ・安全運転委員会を中心に送迎での安全運転のチェック、車両管理等を行った。

(8) 権利擁護委員会

- ・今年度施行の「障害者差別解消法」を受け、利用者の権利擁護の視点に立ち、意思決定支援や合理的配慮について、研修へ参加し、職員の意識づけを行った。

3. 施設概要

- ・ 名 称 障がい支援ひかりの丘
- ・ 事業内容 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業 生活介護 定員20人
特定相談支援事業
その他の事業 日中一時支援事業 定員10人
ライフサポート事業 定員8人
- ・ 所在地 静岡県富士市厚原672番地の2
- ・ 敷地面積 831.07㎡
- ・ 建物規模構造 木造平屋249.78㎡
- ・ 運営開始日 平成5年1月7日

4. 施設整備状況

年 月 日	物 件 名	数 量	目 的 ・ 用 途
平成28年4月1日	ひかりの丘建物	1	平成28年度より民営化の為建物購入
平成28年6月3日	エアコン設置	1	指導室空調整備
平成28年7月12日	「障がい支援ひかりの丘」看板設置	2	平成28年度より施設名変更のため
平成28年10月3日	介護リフト購入	1	職員の介護軽減
平成28年10月12日	富士通サーバ設置	1	バックアップ整備環境整備

5. 施設の開放状況（施設の開放）

開 放 先	内 容	回 数
なし		

6. 職員派遣状況

派 遣 先	派 遣 者	内 容	回 数
重症心身障害児（者）対応ケアマネジメント従業者養成研修	和田 安由美	相談員研修 情報提供	1

7. 施設の開放状況（ボランティアの受入れ状況）

団 体 名	年間回数	1回当たり平均人数	延べ人数
ふきのとう丘	2	7	14
日東工業	1	2	2
サマーショートボランティア	3	5	15

8. 研修受入れ状況

受入れ事業所	受入れ団体名	内 容	受入れ人数
ひかりの丘	富士特別支援学校	体験実習	4
ひかりの丘	中央特別支援学校	体験実習	1

9. 支援の状況

(3月末現在)

支 援 区 分	区 分 5		区 分 6	
人 数	4		20	
	人 数	最高年齢	最少年齢	平均年齢
男 性	7	52	25	37
女 性	17	41	19	32
合 計	24			35

10. 障がいの内容

(3月末現在)

区 分	知的障害	身体障害	重複障害	合計
男 性	2	0	5	7
女 性	3	0	14	17
合 計	5	0	19	24

11. 日常生活能力

(3月末現在)

状 態		男性	女性	合 計
食 事	すべて介助を要する	2	3	5
	一部介助を要する	5	13	18
	すべて自分で出来る	0	0	0
入 浴	一般浴槽で介助を要する	7	16	23
	すべて自分で出来る	0	0	0
排 泄	すべて介助を要する	2	4	6
	一部介助を要する	5	12	17
	すべて自分で出来る	0	0	0

12. 生活介護事業利用状況 (定員：20人)

(4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	21	22	21	21	21	22	21	21	21	20	22	254
利用者延人数	461	471	496	472	444	441	480	462	467	436	438	472	5540
一日平均	22	22.4	22.5	22.5	21.1	21	21.8	22	22.2	20.8	21.9	21.5	21.8

13. ライフサポート事業利用状況 (短期入所日帰り)

(4月1日～3月31日)

利用月	実利用者数	利用時間	利用月	実利用者数	利用時間
4月	8	157時間 2分	10月	14	163時間46分
5月	10	165時間16分	11月	11	167時間46分
6月	10	183時間 3分	12月	10	171時間33分
7月	10	156時間41分	1月	8	154時間52分
8月	9	162時間47分	2月	11	156時間58分
9月	9	148時間57分	3月	13	178時間56分
年 間 合 計				123	1967時間37分

14. 日中一時支援事業利用状況

(4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	4	2	4	4	2	3	3	3	2	2	3	4	36
利用者実人数	15	12	17	16	12	14	17	13	15	13	15	16	175
利用者延人数	40	20	40	36	18	28	30	29	18	17	30	38	344
一日平均	10	10	10	9	9	9.3	10	9.7	9	8.5	10	9.5	9.5

15. 苦情・事故・ヒヤリハット (4月1日～3月31日)

苦 情・ 要 望	2件
軽 微 事 故	3件
ヒヤリハット	107件



山中湖カババス乗車